



稚内市立増幌小中学校 学校だより

責任者：校長 畠山 博次

未来を生き抜く力をつける

校長 畠山 博次



令和4年度が終わります。本校の子どもたちがコロナ禍においても毎日努力を重ね、心身ともにたくましく成長していることを心からうれしく思います。

さて、皆様もご存じのように、人工知能（AI）が飛躍的に進化しています。今後も進化が続き、2045年頃には人工知能が人間の知能に並ぶ「シンギュラリティ」が起ると言われています。これは、人工知能が自分自身の知識をもとに自ら考え判断することです。このような社会になると、学校で学ぶ内容や社会に出てからの働き方にも大きな変化が生じます。そして、さまざまな人たちと協力して未知の課題を解決したり、新しいモノやコトを創り出したりするなど、予測が困難な状況にも「柔軟に対応できる力」が求められます。こうした力を身に付けるためには「主体的・対話的で深い学び」が不可欠です。義務教育の9年間は、未来社会に向けた準備期間という意識をもって日々の学びを深めることが大切です。

あわせて、これからの社会を生き抜くためには「実行力」を存分に発揮する必要があります。自分や周りの人のために大切だと思ふことには、迷わず全力で取り組んでほしいと思います。「失敗したらどうしよう」と考えてしまうこともあるかもしれませんが、とにかく実行して粘り強く取り組むことを子どもたちに強く望んでいます。

また、これまで校長として繰り返し子どもたちに伝えてきましたが、確かな実行力を身に付けるためにはたくさんの「失敗」をすることが必要です。失敗は人間を成長させるからです。早く、たくさん、じょうずに失敗した方がよいと思います。失敗をしても同じ失敗を繰り返さないように努力を重ね、前進すればよいのです。

以上、未来を生き抜くためには「柔軟に対応できる力」「実行力」「失敗」が大切であることを書かせていただきました。本校の子どもたちには、未来を創り、生き抜く力を着実に身に付けられるよう、これからも充実した学校生活を送ってほしいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様には今年度の教育活動へのご理解とご協力に感謝申し上げますとともに、閉校に向けたラスト1年も本校が「地域とともにある学校」であり続けられるよう、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

I believe in future!! (未来を信じて)

3月12日(日)、令和4年度第41回増幌小中学校卒業式が教職員はじめご家族が見守る中、挙行されました。今年度、増幌小学校の卒業生1名、増幌中学校の卒業生2名、合わせて3名の卒業生が、それぞれの課程を修了した証として卒業証書を手にしました。

卒業生は卒業証書を授与された後、これまでお世話になった方々への感謝の気持ちと、これから始まる未来に向けての決意の言葉を述べていました。途中涙を流す生徒もいましたが、3人の言葉はとても力強いものでした。

在校生と卒業生による最後の力合わせは「ピリープ」の合唱。伴奏に合わせた歌声はこの3名が一緒に取り組む最後の活動。素敵な歌声を会場に響かせ、無事に卒業証書授与式を終えることができました。



みなさん お世話になりました!!



【天内 道代 教諭】

増幌小中学校に赴任して4年間、児童生徒、保護者、地域の皆様には大変お世話になりました。この4年間、いろいろと大きな変化がありましたが、その中でも「増幌だからできること」を目指して団結していく子供たちの姿から、たくさんのお話を学ばせていただきました。素敵な思い出もたくさんでき、とても朗らかで心豊かな子どもたち、温かい雰囲気にあふれる増幌小中学校が大好きでした。

本心を言えば、閉校までの1年間を一緒に過ごしたかったという思いでいっぱいですが本校で学んだ多くの経験を次の赴任地でも活かしていきます。本当にありがとうございました。



4月の主な行事予定

- | | |
|----------|------------------|
| 4月 6日(木) | 着任式・始業式(短縮5h授業) |
| 11日(火) | 身体測定 |
| 12日(水) | ALT来校(25日も) |
| 13日(木) | 中3文協テスト |
| 16日(日) | 授業参観・PTA総会・学級懇談会 |
| 18日(火) | 全国学力・学習状況調査(中3) |
| 19日(水) | 児童生徒総会 |
| 20日(木) | 交通安全教室 |
| 26日(水) | PTA3役会議 |
| 28日(金) | 振替休業(4/16分) |

